

横浜市小学校算数教育研究会

11月研究会

のお知らせ

錦秋の候、貴職におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より横浜市小学校算数教育研究会の活動にご理解、ご支援をいただき、深く感謝申し上げます。

さて、標記の研究会を次の通り開催いたします。つきましては、校務ご多用の折とは存じますが、貴校、市算数教育研究会員の先生の出張につきまして、格別のご配慮をお願い申し上げます。

平成30年度研究テーマ
数学的に考える資質・能力を育成する算数科学習
～数学的な見方・考え方が成長する学び～

日時 平成30年 10月31日（水） 15：30～

会員研究会

12月に行われる市一斉授業研究会の指導案検討を行います。

幹事研修会

本研究会副会長の柳澤潤校長先生に講演していただきます。
たくさんのご参加をお待ちしています。

会場

横浜市立二谷小学校



あなたの声で研究会をつくる！

あなたの意見が授業をつくる！

検討に参加して、協働して授業をつくりましょう！

【お問い合わせ先】

会務担当庶務 田中 秋人（南区 六つ川台小学校）電話：715-3077 e-mail：ak18-tanaka@city.yokohama.jp

協働！ みんなで授業をつくろう！

YEME

副会長の独り言①

「今」が、
学びどころ



副会長 柳澤 潤

若い人の市算数研究会への参加者が、増えています。夏の教育課程研究協議会では、各教科の中で一番参加者が多かったのが、算数科の会場でした。また、市算数研究会が行った夏季セミナーにおいても、300名ほどの参加者があり、算数の授業づくりについて、先生方が高い関心を持ち、授業改善への熱心な協議がありました。

12月5日の市一斉授業研究会では、算数科は12会場での授業提案を行います。「12」の会場数の提案は、今までで最も多い学級数の授業公開になります。今、算数科の授業に対する大きな期待に応えるため、役員としても授業者と連携しながら、内容面の充実に検討を重ねています。

11月の「市研」は、この一斉授業研で授業提案をされる先生との、事前の検討会になります。学習指導要領解説を読み解き、教材研究を重ねた授業者とともに、子どもの姿を描きながら、一緒に悩み研究を深めあう機会にしたいと考えます。「今」が、学びどころです。市研への参加を研究の一步として、共に学び合う、仲間の輪を広げていきましょう。

副会長の独り言②

共に学びを
追究しましょう



副会長 石川 秀子

教科書はとても親切なので、課題も予想される子供の反応もまとめも書かれています。板書例も示されているので授業がスムーズに進みそうな気がしてきます。しかし、子供たちが楽しく学習しているように感じられない、子供の中に数学的な見方や考え方が育っているのか疑問に感じる、もっと子供を揺さぶるような、知的な好奇心や探求心がもてる授業をしてみたい、などと思ったことはありませんか。そんな時はぜひ一度市算数研究会に来てみませんか。

子供にとって必要な学びを、授業者や提案者、参加者と共に実践を通して追究する場が市研究会です。単元で育てたい数学的な見方・考え方を明らかにし、単元構成を考え、子供の問いを明らかにして具体的な展開を構成することは、授業者にとっての挑戦でもあり、その結果は子供の学びの姿となって表れます。まずは自分がそんな授業に挑戦してみることから始めませんか。難しさや面白さはどこにあるのか、活動に学びはあるのか、実践して気づくことはたくさんあります。迷い、悩むことがあるからこそ共同研究です。様々な知恵や経験を持った会員の皆さんが、アイデアを出し合い、実践を重ねてその結果をまた共有し合うことが授業を変えていくことにつながります。自分の授業を改善し、子供の具体的な姿で学び合っていきましょう。

市算研のつばやき

参加者で授業を創ろう

今月からはいよいよ12月の一斉研に向けてさらに研究を深めていきます。今年度は、各部会から2つずつ授業が行われ、より部会での研究とのつながりを感じられるようになっています。同じ授業でも子どもが変われば授業が変わっていくように、授業をみる人が変わればその捉え方も様々です。それぞれの思いや意見を共有する中で、授業の根幹にある育成する資質・能力を子どもの具体的な姿で捉え、授業ではどう数学的な見方・考え方を働かせ成長させているのかといった共通の視点を一人ひとりがもち協議していきたいですね。一斉授業研は、実際の子供たちの様子や表情、教師や子ども達同士のやりとりを基に協議できる、大変貴重な機会です。部会の先生方で「協働」し、一つの授業を皆で創りあげていく。そんな研究ができればと思っています。

会計 成水亜季

12月の市研は…

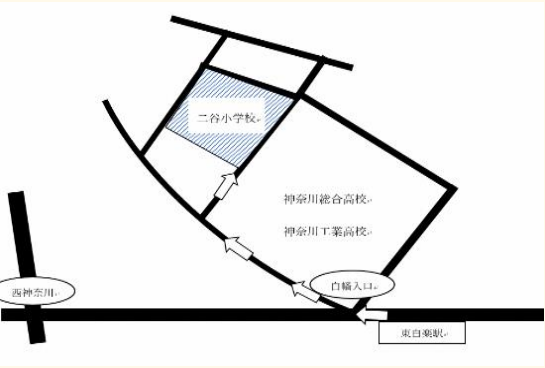
☆ 12本の授業研究会を行います。11月の検討を生かし、よりよい研究会にしていきたいと思います。

会場アクセス

横浜市立二谷小学校

神奈川区平川町11-1

【電車】東急東横線 東白楽駅下車 徒歩 5分
京浜急行線 仲木戸駅下車 徒歩10分
JR線 東神奈川駅下車徒歩 7分
【バス】神奈川公会堂入口下車 徒歩 6分



- ◆ 登録方法はwebや、各学校に配布されている案内を参照してください。市研会場の受付に立っている役員に声をかけていただいても大丈夫！ お誘い合わせの上、ぜひ会場まで足を運んでみてください。
- ◆ 市算数研 URL：http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/sch/kenkyu/es-sansu/index.html



学年：1年 「かたちづくり」

☆授業者：久野 由紀恵先生（鳥が丘小）
☆講師：南部 礼子校長先生（東戸塚小）
☆アドバイザー：亀岡 亜由子先生（岸谷小）



「かたちづくり」
提案資料

☆提案の主張：

色板を組み合わせてできた形を丁寧に観察することで「さんかく」や「しかく」の形を見いだせるようにする。



学年：1年 「ずをつかってかんがえよう」

☆授業者：中村 駿斗先生（山内小）
☆講師：志田 一彦校長先生（山王台小）
☆アドバイザー：福田 善行先生（緑園西小）



「ずをつかって
かんがえよう」
提案資料

☆提案の主張：

場面と図、式をいききさせながら数量の関係に着目して具体物や図を用いて表すことで加法や減法が用いられる場面として考えられるようにする。



学年：2年 「分数」

☆授業者：山本 唯先生（間門小）
☆講師：石川 秀子校長先生（二谷小）
☆アドバイザー：横地 健一郎先生（師岡小）



「分数」
提案資料

☆提案の主張：

1/3 という折り紙などを半分にしていく操作ではつくることのできない分数の大きさについて考える。そして基準となるものを数に置き換えて分割していくことで分数を表すことができることに気づき、これまで学習した1/2や1/4など具体物の操作をもとにした分数と数の分割をもとにした分数とを統合的に考えることができる。



学年：2年 「たし算とひき算」

☆授業者：高橋 建太先生（南神大寺小）
☆講師：徳江 武司校長先生（荏子田小）
☆アドバイザー：諸角 勇志先生（川井小）



「たし算とひき算」
提案資料

☆提案の主張：

具体的な生活場面から、逆思考の問題解決を通して、加法・減法の相互関係について理解を深める。曖昧な場面を用意することで、問題場面を図に表し、既知数と未知数を図で明確にとらえる必要感を感じさせる。



学年：3年 「かけ算の筆算（2）」

☆授業者：杉山 浩太郎先生（横浜深谷台小）
☆講師：樋渡 典子校長先生（新橋小）
☆アドバイザー：能登谷 亮先生（川島小）



「かけ算の筆算（2）」
提案資料

☆提案の主張：

既習の乗法の学習を用いて、乗数が2位数に増えたり、部分積の桁数が増えたりする場合においても、九九や乗法のきまりを活用して類推的に計算の仕方を考える。また、単に筆算の仕方を形式的に学習するだけでなく、2つの数の倍関係に着目し、1あたりを基準量としなくても全体量を求められることに気づくことで、乗法の意味を拡張する。



学年：3年 「三角形と角」

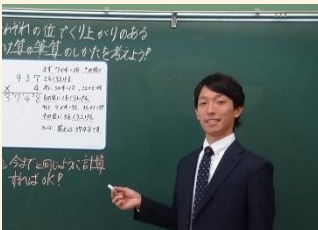
☆授業者：一杉 幸祐先生（下末吉小）
☆講師：小林 広昭校長先生（山下みどり台小）
☆アドバイザー：柴田 浩行先生（岸谷小）



「三角形と角」
提案資料

☆提案の主張：

「三角形と角」の終末で、敷き詰め模様から様々な図形を見つける活動を通して、図形の構成要素に着目し、筋道立てて説明する力を身に付けられるようにする。また、合同な二等辺三角形や正三角形の組み合わせから四角形や大きな三角形がつくれることを実感し、合同や対称、拡大図・縮図等の今後の図形学習の素地を養う。



学年：4年 「直方体と立方体」

☆授業者：太田 博英先生（浜小）
☆講師：伊藤 淳二校長先生（中和田南小）
☆アドバイザー：帆足 雄斗先生（上末吉小）



「直方体と立方体」
提案資料

☆提案の主張：

本単元では、直方体や立方体の特徴や性質を学ぶ。その特徴や性質をもとに、着目したものの位置を複数の要素で表していく。作図などで点を決める際は、長さや角度を用いることで決定できた。それを、座標軸という新たな見方で位置を決定していく。この単元で学習したことをもとに、複数の要素を用いて位置を表す。平面や立体の図形の面や性質を理解したうえで、新たな見方で対象の位置を表すことができるかという点を単元の主張としたい。



学年：4年 「変わり方調べ」

☆授業者：河野 理恵先生（山下みどり台小）
☆講師：菊地 信明校長先生（阿久和小）
☆アドバイザー：石川 亜矢子先生（仏向小）



「変わり方調べ」
提案資料

☆提案の主張：

本単元では、問題場面からきまりを見だし、その見いだされた二つの数量関係についての問題を、表や式を用いて表す。そして、伴って変わる二つの数量の間にある変化や関係を考察できるようにする。また、そこから主体的に問いをもち、粘り強く考えていけるようにする。



学年：5年 「割合」

☆授業者：吉田 道先生（釜利谷東小）
☆講師：柳澤 潤校長先生（戸部小）
☆アドバイザー：三塚 大亮先生（中丸小）



「割合」
提案資料

☆提案の主張：

割合の中でも特に日常に起こり得る「値引き」の場面において、図や式などをもとに正しく判断し、筋道立てて説明することができる。



学年：5年 「面積」

☆授業者：吉江 遼太先生（南本宿小）
☆講師：大島 宏二校長先生（岸谷小）
☆アドバイザー：梅本 樹徳先生（浜小）



「面積」
提案資料

☆提案の主張：

台形の面積の様々な求め方は、どの考え方も公式で求められることを、図と式で関連付けて考えることができる。



学年：6年 「拡大図・縮図」

☆授業者：山田 薫先生（川和東小）
☆講師：平井 克明校長先生（和泉小）
☆アドバイザー：黒木 正人先生（青葉台小）



「拡大図・縮図」
提案資料

☆提案の主張：

日常生活の中から、子どもが図形を見だし、「同じ」という観点でみることで拡大図・縮図の性質を生かすことができる。また、その性質を根拠に「同じ」であることを説明できるようにする。



学年：6年 「比例」

☆授業者：松田 陸先生（岸谷小）
☆講師：田子 康之校長先生（中川小）
☆アドバイザー：黒澤 震哉先生（鳥が丘小）



「比例」
提案資料

☆提案の主張：

表やグラフを用いて表すことで、おおよその数量関係を把握しやすくなり、それを比例と見なすことで、知りたい数量についての結果を導く。その結果を活用して問題を解決できるようにする。

